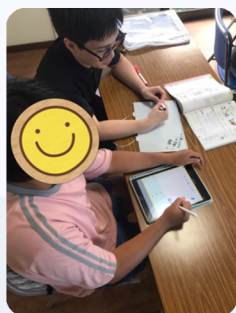


子どもの貧困に立ち向かう 市民活動応援助成

(第4期・2025年度)

地域のまなび場支援

助成団体紹介



公益財団法人

かながわ

生き活き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

目次

03 第4期助成 選考講評

《団体紹介》

04 ・長後寺子屋ぽかぽか

・たすけあい

05 ・一般社団法人こども食堂プロジェクトatやまと

・特定非営利活動法人 地域で子どもを育む会

06 ・ハングル教室「へバラギ」

・たすき塾

07 ・無料学習支援 学び場「ここから」



かながわ生き生き市民基金 ◆私たちのミッション◆

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き生き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆私たちの事業・活動◆

福祉たすけあい
助成
(通常型)

福祉たすけあい
助成
(スタート助成)

子どもの貧困に立ち
向かう市民活動応援
助成

市民活動応援
フォーラム

ユーコープ子ども
応援助成

JA横浜子どもの
未来支援助成

遺贈・生前贈与
相談

市民活動応援講座

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成(第4期)

貧困の連鎖を断ち切り希望ある未来に向けて～教育の格差に立ち向かう～

子どもの貧困は、教育、健康、進路選択など多くの分野に深刻な影響を及ぼします。2024年に公表された「子育て世帯全国調査（労働政策研究・研修機構）」によると、親の学歴が低いほど貧困率が高くなる傾向は依然として続いており、特に中卒の親を持つ世帯では経済的困難が顕著です。また、厚生労働省の「令和6年国民生活基礎調査」では、児童のいる世帯のうち約13.5%が相対的貧困状態にあると報告されています。

こうした状況の中、ひとり親世帯や外国にルーツを持つ子どもなど、特に支援が必要な家庭に対して、安定した学びの機会を保障することは極めて重要です。世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るためには、教育支援や生活支援の充実が不可欠です。

本助成は、地域に根ざした市民活動を通じて、子どもたちの可能性を広げ、社会全体で支える仕組みづくりを後押しします。



選考委員長講評



選考委員長 手塚 明美
(一社) ソーシャルコーディネートかながわ理事長
(公財) かながわ生き生き市民基金理事

第4期となる「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」の選考が終了いたしました。今回は7団体から総額645,000円の申請があり、選考委員の意見をもとに協議を重ねた結果、申請額通りの助成が1件、一部助成が6件となり、助成総額は531,960円となりました。

「子どもの貧困」には、経済的な困難だけでなく、経験の不足や他者との関係性など、さまざまな要因が関係しています。今回の申請には多様な視点からの提案が寄せられ、今後の活動への期待が高まりました。

一方で、活動への熱意が強いあまり、申請書に記載漏れなどが見受けられるケースもありました。本助成の原資は、「子どもの貧困に立ち向かう市民活動」を応援したいという一般市民の皆さまからの寄付によって成り立っています。その思いをしっかりと受け止め、今後の活動に活かしていただけることを心より願っております。

選考委員

委員長 手塚明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長
委員 田中夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
川岸卓哉	弁護士/ (特非) 原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長
荻野慶子	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会理事
高村文子	三浦市民交流センターニナイテ 館長
小野明男	神奈川新聞社/横浜市港北区民文化センター館長
矢野克子	生活クラブ生活協同組合神奈川副理事長

長後寺子屋ぽかぽか
(藤沢市) 代表 荻野 直美
80,000円

【助成した活動】

経済的に困難な家庭や不登校のお子さんの学習支援、心のケアの支援

【団体紹介】

★設立年月

2023年12月

★団体の活動目的・内容

教育格差が広がっていると言われる現在、経済的な理由で塾に通えず学習についていけない子供たちや様々な理由で居場所を失っている子供たちを対象としマンツーマンで学習支援や心のケアの支援をしています。無料で行うことで地域のどこにでも行くことができないお子さんの居場所となるよう活動しています。

★団体情報

住所：藤沢市長後838-5

TEL：080-9284-9978（代表）



【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は助成をいただきありがとうございます。当初2名のお子さんからスタートしましたが1年半経った現在、子供達も12名が通うようになりました。当初は不登校や学習が苦手な子が多かったのですが、現在は外国籍や一人親家庭の子供たちも来てくれています。マンツーマンで接していますので本人の困っていることを把握しやすく、スタッフ全員で共有しています。その時、辞書や分かりやすい教材のために助成金を使わせていただき大変助かっております。学習以外でも料理教室や、紙紐で作る花瓶作り、藍染体験など様々なイベントを行うことで子供たちは多くの体験ができています。イベントの材料費も高沸しており助成金が大変役立っています。スタッフのモチベーションも高まり活動の励みにつながっています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



たすけあい（小田原市）
代表 太田 実
82,000円

【助成した活動】

地域で孤立している子どもたちを対象とした無料学習支援

【団体紹介】

★設立年月

2019年4月

★団体の活動目的・内容

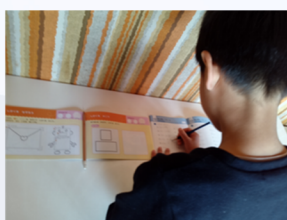
生活困窮者や病気や失業で生活していけない方々の生活支援を行う。

★団体情報

住所：小田原市酒匂4-5-40

TEL：080-6587-3003

mail：ootam242@gmail.com



【助成を受けての思い・メッセージ】

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成を受けることができ、ありがとうございます。この助成を受けることができ、生活困窮者やひとり親家庭などの子どもが孤独や孤立に陥ることのないように、学習支援と居場所づくりに努めていきたいと思っております。困窮者の子どもの居場所を作り、学習する場を提供して、どのような子どもであっても生き生きと生活していけるように、努めてまいります。助成を大きな力として継続してゆきます。



**(一社) こども食堂プロジェクトatやまと
(大和市) 代表 永井 圭子
65,000円**

【助成した活動】

ボランティア講師によるほぼ
マンツーマンの個別指導



【団体紹介】

★設立年月

2016年6月に任意団体設立

2024年5月に一般社団法人設立

★団体の活動目的・内容

様々な生きづらさを抱えた子どもとその家庭に寄り添うなかで気づく課題に対し必要な活動を創出することをもって、身近な大人として関わり続けることにより、子どもたちの頼れる存在になることを目的としています。

★団体情報

住所：大和市鶴間1-21-19 眞壁ビル3階

特定非営利活動法人ワークス・コレクティブ・チャイルド・ケア内

URL：https://www.tamameshi.org

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、市民活動応援助成をいただきましてありがとうございます。学習支援活動である「たま塾」の活動は、こども食堂の利用者だった一人の女の子への学習支援をきっかけに始まりました。自宅での学習環境が整わない子が事務所に来て、毎日のように自習をしていました。それを見た大人が得意な科目をサポートし、希望する高校に進学をすることができ、今では大学生となっています。世帯の経済状況により、塾に通うことができない子、そもそも学習習慣がない子、進学への親の関心が薄い子など、様々な家庭環境で育つ子どもたちに学習の機会を提供するために、たくさんのボランティアさんたちが集まって、熱心に、楽しく、学習支援をしてくださっています。この助成金は、協力してくださるボランティアさんたちへの交通費や子どもたちの学習のための教材費に活用させていただきます。



**NPO法人 地域で子どもを育む会
(川崎市高津区) 代表 小畑 睦
100,000円**

【助成した活動】

寺子屋（学習補習）
居場所事業



【団体紹介】

★設立年月

2022年4月

★団体の活動目的・内容

地域の児童やその保護者に対して、教育に関する事業を行い、地域の子どものうちやその保護者の育成に寄与する。

★団体情報

住所：川崎市高津区（非公開）

TEL：080-5490-9455

mail：info@acc-k.com

URL：https://acc-k.com



【助成を受けての思い・メッセージ】

当会は「地域の子どもたちは地域で育む」を理念に、学校の宿題を気軽に相談できる大人や学生ボランティアがいる、夕方から夜に開かれる明るい居場所を運営しています。「おにぎり講習」などを通じて、異なる学校や学年の子どもたちが孤立せず過ごせる場を提供し、音楽・アート・食育などの活動で自己肯定感を育てています。多世代のボランティアが子どもたちの良さを引き出し、学習のつまずきも早期に支援。今回の助成により、この居場所が地域の力となり、卒業生がボランティアとして戻る循環が生まれることを願い、心より感謝申し上げます。



ハングル教室「ヘバラギ」
(川崎市川崎区) 代表 梁由衣
52,000円

【助成した活動】

小学1年から6年生までの外国にルーツを持つ子供たちを対象にしたハングル教室・他文化教室

【団体紹介】

★設立年月

2004年4月



★団体の活動目的・内容

- ①朝鮮半島にルーツをもつ子供たちへハングル教室や異文化教室を実施しています。
- ②川崎区を中心に小学1年生から6年生までを対象に月2回のハングル学習や夏遊びなどを企画運営しています。

★団体情報

住所：川崎市川崎区（非公開）

TEL：044-322-7280

【助成を受けての思い・メッセージ】

「地域の在日コリアンの子どもたちの為にできることをやろう」という私たちの素朴な活動を認めていただいたと、スタッフの今後の自信にもつながり嬉しく思っています。ありがとうございます。これからも子どもたちが民族の歴史や文化を学べる場を提供して、自分のルーツを知り、アイデンティティーの確立の一助となるよう尽力してまいります。



たすき塾（横須賀市）
塾長 高島 智子
92,960円

【助成した活動】

無料の学習塾と居場所事業

【団体紹介】

★設立年月

2011年2月



★団体の活動目的・内容

有料の学習塾に通っていない、又通えない小学校5年生～中学3年生までの子どもを対象に月4回講師6人、ボランティアの学生2人で居場所も兼ねた無料の学習支援を行っています。

★団体情報

住所：横須賀市小矢部1-19-15

TEL：046-837-4345

mail：taka110105@jcom.home.ne.jp

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は「たすき塾」への助成をいただきましてありがとうございました。

地域の自治会やボランティアの方々のお力添えのおかげで15年目を迎えることができました。巣立っていった子ども達の中には講師として戻ってきてくれている子もいて、講師にとって嬉しいことのひとつです。今まで交通費も渡すことのできなかった講師の方々へ交通費を渡すことができるようになりました。

中学3年生の「卒業祝い品」は例年とても喜ばれています。これからも大切にに使わせていただきます。



**無料学習支援 学び場「ここから」
(相模原市南区) 代表 小崎 高義
60,000円**

【助成した活動】

小中学生の学習支援・居場所
・カフェ（こども食堂）・
食材支援活動

【団体紹介】

★設立年月

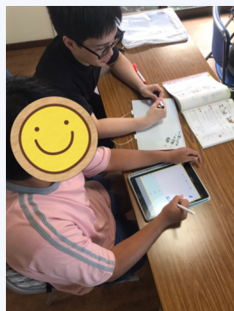
2022年4月

★団体の活動目的・内容

小中学生が学ぶ楽しさを体験する学びの場です。
様々な事情や特性に合わせて、1人1人のペースに寄
り添いながら、わかった！できた！を共に体験してい
ます。ご家族や地域の方々向けに、
カフェ（食事支援）や食材配布も行っています。

★団体情報

住所：相模原市南区古淵5-10-11
クロスロードバプテスト教会
mail：manabi.coco@gmail.com
URL：manabi-coco (peraichi.com)



【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は助成団体に採択いただき、誠にありが
とうございました。私たちは子どもたちの「わか
った！」「できた！」という声を目指し、個性を
尊重した支援を行っています。家庭で学習が難し
い子や不登校の子にも、地域の大人や学生ボラン
ティアが寄り添い、根気強く関わることで学習意
欲が芽生え、自ら課題に取り組む姿が見られるよ
うになりました。安心して過ごせる居場所とし
て、学習以外にも好きなことに取り組める環境を
提供しています。月1回の食事支援カフェでは、
家族や地域の方々にも憩いの場を提供していま
す。助成を受け、子どもたちの多様な特性が尊重
され、未来の可能性が広がるよう、今後も活動を
継続してまいります。





「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」 への寄付をお願いします。

日本における子どもの貧困

かつては総中流社会と云われた日本社会ですが、この20年余りの間に、格差・貧困が加速度的に広がっています。2023年厚生労働省「国民生活基礎調査」では、2021年度の子どもの相対的貧困率（所得水準などに照らして貧困の状態にある18歳未満の割合）は、11.5%となり8.7人に1人が貧困状態にあります。一方、ひとり親世帯の貧困率は、依然として半数近くが貧困状態にある高水準となっています。日本における子どもの貧困の特徴は、ひとり親家庭の半数が貧困状態にあることが挙げられます。ひとり親家庭は圧倒的に母子家庭が多いため、子育てをしながらでは正規雇用に就きにくく、安定した収入を得られないことが影響しています。食支援・無料学習支援など、子どもの貧困という課題に取り組む活動を支援する基金です。

● 基金へご寄付をお願いします。

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成は、皆様の寄付で成り立つ助成です。

第5期の実施のために、寄付を募集しています。

● 基金のしくみ

- ・ 1口1万円
- ・ 基金への寄付が100万円を超えた段階で、公募します。

2022年(1期)・2023年(2期)・2024年(3期)・2025年(4期)に実施しました。

● お申込み方法

領収書をお送りする関係から申込書をお送りいただき下記にお振込みください。

- ・ ゆうちょ銀行から振込
記号番号 00220-6-102971
ザイ) カナガワイキイキシミンキキン
- ・ ゆうちょ銀行以外から振り込み
ゆうちょ銀行〇二九店(ゼロニキュウ店)
当座 0102971 ザイ) カナガワイキイキシミンキキン



公益財団法人 **かながわ生き生き市民基金**

Kanagawa Lively Citizens Fund

発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6F
TEL：045-620-9044 Fax：045-620-9045
mail：info@lively-citizens-fund.org
URL：https://www.lively-fund.sakura.ne.jp
発行日：2025年12月1日

